

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年2月8日

【四半期会計期間】 第85期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 フジオーゼックス株式会社

【英訳名】 FUJI 00ZX Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 深谷 研 悟

【本店の所在の場所】 静岡県菊川市三沢1500番地の60

【電話番号】 (0537)35-5873

【事務連絡者氏名】 常務取締役 服 部 孝 樹

【最寄りの連絡場所】 静岡県菊川市三沢1500番地の60

【電話番号】 (0537)35-5873

【事務連絡者氏名】 常務取締役 服 部 孝 樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第84期 第3四半期 連結累計期間	第85期 第3四半期 連結累計期間	第84期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	11,726,148	11,798,246	16,199,832
経常利益 (千円)	998,480	1,038,937	1,594,379
四半期(当期)純利益 (千円)	407,097	638,038	780,620
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	272,844	636,085	675,140
純資産額 (千円)	19,532,606	20,270,729	19,934,532
総資産額 (千円)	22,623,892	23,047,830	22,973,194
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	19.81	31.05	37.99
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	85.4	87.4	85.8

回次	第84期 第3四半期 連結会計期間	第85期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.34	9.50

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社企業集団において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、高い成長率を維持してきた中国・インド経済の成長性鈍化や欧州の債務問題、またそれらをきっかけにした世界経済の減速など、依然として先行きの見通しが不透明な状況で推移しております。

一方、わが国の経済におきましては、東日本大震災の復興需要などにより穏やかな回復基調が見られるものの、中国をはじめとする一部新興国の経済成長が鈍化したことやエコカー補助金の打ち切りなど、景気回復を鈍らせる要因も顕在化しており、不透明な経済環境が継続しています。

このような状況下で、当社グループの業績は、エコカー補助金打ちりに伴う国内需要の低迷や特に中国向け輸出の減少など厳しい環境となりましたが、引き続き徹底したコスト改善を推進し、新たな成長を目指してまいりました。

これにより、売上高は11,798百万円（前年同期 11,726百万円）、営業利益は986百万円（前年同期 896百万円）、経常利益は1,039百万円（前年同期 998百万円）、四半期純利益は638百万円（前年同期 407百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

自動車部品製造

国内の自動車産業は、エコカー補助金打ちりに伴う国内需要低迷や輸出低迷の影響を受け、売上高は11,166百万円（前年同期 11,077百万円）、営業利益は906百万円（前年同期 828百万円）となりました。

流通

流通においては、自動車部品の取引量減少に伴い売上高は632百万円（前年同期 649百万円）、営業利益は0百万円（前年同期 営業損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加し、23,048百万円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、14,739百万円となりました。

主な要因は以下のとおりであります。

- ・売掛金の回収、経費の削減等により現金及び預金が856百万円増加しております。
- ・受取手形及び売掛金が779百万円減少しております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、8,309百万円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ245百万円減少し、2,551百万円となりました。

主な要因は以下のとおりであります。

- ・買掛金が488百万円減少しております。
- ・未払法人税等が270百万円増加しております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少し、227百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ336百万円増加し、20,271百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は111百万円であります。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の国内経済の見通しにつきましては、欧州債務問題の深刻化や中国をはじめとする一部新興国の経済成長性の鈍化など、下振れリスクを抱えています。

このような環境の中、当社グループは収益確保と今後の成長に向けた挑戦テーマを推進するとともに、引き続きキャッシュ・フローの改善、変動費の低減、固定費の圧縮など徹底した経費削減活動により財務体質改善に努めてまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年2月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,559,500	20,559,500	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	20,559,500	20,559,500	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日 ~ 平成24年12月31日		20,559,500		3,018,648		2,769,453

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,532,000	20,532	-
単元未満株式	普通株式 16,500	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,559,500	-	-
総株主の議決権	-	20,532	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式765株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市三沢 1500番地の60	11,000	-	11,000	0.05
計	-	11,000	-	11,000	0.05

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (社長補佐、経営企画部長)	常務取締役 (総務部担当、経営企画部長)	服部孝樹	平成24年12月1日
常務取締役 (社長補佐、グローバル戦略部長、東京オフィス長)	常務取締役 (営業部、全社プロジェクト担当)	野地俊広	平成24年12月1日
取締役 (技術開発部長)	取締役 (プロジェクトAリーダー)	浜田章宏	平成24年12月1日
取締役 (エンジニアリング部長)	取締役 (技術開発部長、プロジェクトBリーダー)	伊藤昌記	平成24年12月1日
取締役 (CS推進部担当、静岡工場長)	取締役 (CS推進部担当、製造部長、プロジェクトCリーダー)	高野雄次	平成24年12月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,591,692	7,447,511
受取手形及び売掛金	2 4,347,143	2 3,568,213
商品及び製品	593,398	625,282
仕掛品	573,412	501,116
原材料及び貯蔵品	482,524	534,904
その他	2,130,564	2,068,283
貸倒引当金	11,219	6,000
流動資産合計	14,707,513	14,739,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,765,778	2,674,695
機械装置及び運搬具（純額）	1,551,227	1,392,152
土地	2,332,257	2,332,257
その他（純額）	240,622	466,097
有形固定資産合計	6,889,884	6,865,202
無形固定資産	25,918	33,325
投資その他の資産		
その他	1,377,792	1,437,899
貸倒引当金	27,912	27,905
投資その他の資産合計	1,349,879	1,409,994
固定資産合計	8,265,681	8,308,521
資産合計	22,973,194	23,047,830
負債の部		
流動負債		
買掛金	2 1,981,412	2 1,493,452
未払法人税等	47,052	317,240
賞与引当金	51,864	37,880
役員賞与引当金	27,440	-
その他	2 687,925	2 701,977
流動負債合計	2,795,693	2,550,549
固定負債		
退職給付引当金	43,912	36,222
役員退職慰労引当金	1,997	2,950
環境対策引当金	24,499	24,499
その他	172,561	162,881
固定負債合計	242,969	226,552
負債合計	3,038,662	2,777,101

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	14,637,495	15,028,958
自己株式	5,807	5,896
株主資本合計	20,419,787	20,811,162
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	698,806	675,984
その他の包括利益累計額合計	698,806	675,984
少数株主持分	213,551	135,551
純資産合計	19,934,532	20,270,729
負債純資産合計	22,973,194	23,047,830

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,726,148	11,798,246
売上原価	9,452,507	9,311,236
売上総利益	2,273,641	2,487,009
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	414,385	462,998
賞与引当金繰入額	10,315	5,481
退職給付費用	30,827	48,460
その他	922,121	983,749
販売費及び一般管理費合計	1,377,647	1,500,688
営業利益	895,993	986,321
営業外収益		
受取利息	4,526	4,461
受取配当金	2,400	1,560
持分法による投資利益	103,071	43,878
受取賃貸料	38,049	37,982
助成金収入	7,741	8,029
その他	3,991	24,928
営業外収益合計	159,778	120,840
営業外費用		
支払利息	34	26
固定資産除却損	12,714	7,522
為替差損	14,722	25,285
賃貸収入原価	18,777	18,571
その他	11,045	16,820
営業外費用合計	57,292	68,223
経常利益	998,480	1,038,937
特別損失		
投資有価証券評価損	3,010	-
退職給付制度改定損	290,733	-
特別損失合計	293,743	-
税金等調整前四半期純利益	704,737	1,038,937
法人税、住民税及び事業税	53,778	444,223
法人税等調整額	287,049	15,042
法人税等合計	340,827	429,181
少数株主損益調整前四半期純利益	363,910	609,757
少数株主損失()	43,188	28,281
四半期純利益	407,097	638,038

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	363,910	609,757
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	24,571	7,862
持分法適用会社に対する持分相当額	66,495	18,467
その他の包括利益合計	91,066	26,329
四半期包括利益	272,844	636,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324,140	660,860
少数株主に係る四半期包括利益	51,296	24,775

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 偶発債務

関連会社の借入金に対して、下記のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
TRW Fuji Valve Inc. 127,071千円 (1,547千ドル)	TRW Fuji Valve Inc. 122,637千円 (1,416千ドル)

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等の処理

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、下記の四半期連結会計期間末日満期手形等を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形及び売掛金	82,788千円	49,361千円
買掛金	14,034千円	11,318千円
流動負債 その他(未払金)	6,628千円	3,300千円
流動負債 その他(設備支払手形)	2,800千円	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	466,502千円	434,357千円
のれんの償却額	-	869千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	102,742	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	102,742	5.00	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	143,836	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	102,739	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	11,076,845	649,303	11,726,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,225	369,780	375,005
計	11,082,070	1,019,083	12,101,153
セグメント利益又は損失()	827,617	17,608	810,009

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	810,009
セグメント間取引消去	85,985
四半期連結損益計算書の営業利益	895,993

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	11,166,459	631,786	11,798,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,524	389,083	394,607
計	11,171,984	1,020,869	12,192,853
セグメント利益	906,403	48	906,452

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	906,452
セグメント間取引消去	79,869
四半期連結損益計算書の営業利益	986,321

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる報告セグメントごとの利益又は損失の金額に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	19円81銭	31円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	407,097	638,038
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	407,097	638,038
普通株式の期中平均株式数(株)	20,548,409	20,547,869

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年10月26日開催の取締役会において、第85期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当総額 102,739千円
- (2) 1株当たり中間配当金額 5円00銭
- (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月25日

フジオーゼックス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 今泉誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジオーゼックス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジオーゼックス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。